

基金を活用して実施した助成事業の紹介

■協働助成事業（一般型）

1 「やまがた子ども観光大使」プロジェクト 2013 （県政課題部門：「やまがた子ども観光大使」の育成）

事業実施団体 TOSS 常笑気流（山形市）

事業内容

山形の良さを学び、魅力を県内外に発信する担い手として活躍できる子どもの育成を目的として、やまがた子ども観光大使育成事業を実施しています。

今年度は、7月中旬から10月下旬にかけて、県内の観光地7ヶ所で子ども観光大使講座を実施しました。講座では、笹巻づくり体験や最上川舟下り体験等、ご当地ならではの体験や授業、検定クイズを通して、子どもたちが山

形の魅力に直接触れる機会を提供しました。

講座に参加した子どもたちや親御さんからは、「とても勉強になった。今後も、山形の魅力を実際に体験しながら学んでいけたらと思う」、「新しい発見があり楽しかった」等の感想をいただきました。

今年度は、講座に2回以上参加する等の要件を満たした子どもたち46名が「やまがた子ども観光大使」として認定されました。



2 ～災害時の生きる知恵を学ぶ～防災体験 チャレンジキッズ！ （県政課題部門：「災害時に役立つ子どもの体験・訓練」の実施）

事業実施団体（特活）いぶき（酒田市）

事業内容

近年、県内各地で防災組織の立ち上げ等が活発になっている中、将来の地域防災を担う人材を育成するためには、子どもの頃から、災害時を想定した模擬体験等を通して防災意識を持つことが大切です。

そこで、ライフラインが寸断された場合を想定した宿泊体験及び災害時を想定した炊き出し訓練を行いました。

10月に開催した「子どもたちだけのたすけあいキャンプ」では、山形県防災学習館の見学やライフラインが寸断された環境の下での活動を通して、参加した子どもたち同士のコミュニケーション力を高めることができました。

また、11月に開催した子どもたちによる「災害時を想定した炊き出し訓練」では、講師から災害時の食事に関する話を聞きながら子どもたち自らが調理することで、防災や災害時に役立つ知識を身につけてもらうきっかけとなりました。



■協働助成事業（一般型）

3 美しいやまがたの海を推進する県民ネットワーク事業 （県政課題部門：美しいやまがたの海づくりプランの推進）

事業実施団体（特活）庄内海浜美化ボランティア（酒田市）

事業内容

当法人では、平成11年から毎月1回の海岸清掃を継続して行っています。海岸線のゴミは以前より少なくなっていますが、今後も定期的な清掃活動が必要です。

一方、これらのゴミを削減するためには、まず、海岸漂着物の実態を多くの方に知ってもらう必要があります。

このため、海岸漂着ゴミ問題の啓発を目的とした海岸漂着ゴミについての研修会と清掃体験を実施しました。また、2回に渡り、酒田市内の小学生を対象に孟宗竹の枝払い体験及び海岸漂着ゴミについての説明を行いました。



県内各市町村の広報誌、地方新聞、ミニコミ誌等を活用して広く参加者募集を行い、多くの方々から参加いただいたことにより、海岸漂着ゴミ問題を啓発することができました。

今後も本事業を継続することにより、海岸漂着ゴミの削減に取り組むネットワークの一層の充実・強化が図られ、参加者の環境保全に対する意識向上につながると考えています。



4 山形の魅力満載週末保養支援事業 （県政課題部門：東日本大震災に伴い被災県から本県への週末保養等に対する支援）

事業実施団体 やまがた絆の架け橋ネットワーク（山形市）

事業内容

福島県では、原子力発電所事故の影響で子どもの外遊びを控える家庭が多い状況にあります。また、宮城県などの被災地では、仮設住宅の入居者を中心に子どもがのびのびと遊ぶことができるスペースがないという声があがっています。

このような問題を解決するため、主に子どもをもつ家族を本県に招き、さくらんぼ狩りや芋煮会を行いました。本県の豊かな自然や文化に触れてもらう機会を提供することにより、子どもたちだけでなく親御さんも日頃のストレスを解消することができ



たと思います。

また、これらのおもてなしを通して本県や県民の魅力を伝えることができたことで、今後、本県と被災県との活発な交流が期待されると思います。

参加者からは、「素晴らしい企画で、山形の魅力を感じることができた」等の感想をいただきました。

避難者の帰還が増えていく中、保養支援事業に対するニーズが日増しに高まっていると思われ、今後も継続して事業を実施していきたいと思

